

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年11月22日

【評価実施概要】

事業所番号	0172902389		
法人名	医療法人社団 淳彩会 永山循環器科クリニック		
事業所名	グループホーム せせらぎの里		
所在地	北海道旭川市永山7条4丁目2-1 (電話) 0166-49-6060		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成19年11月21日	評価確定日	平成19年11月22日

【情報提供票より】(平成19年10月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)17年9月20日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	21 人	常勤	13人, 非常勤 8人, 常勤換算 8人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨	造り
	平屋 建ての	~ 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,000 円	その他の経費(月額)	17,000~23,000 円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,200 円	

(4) 利用者の概要(10月20日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	3 名	要介護2	6 名		
要介護3	4 名	要介護4	4 名		
要介護5		要支援2	1 名		
年齢	平均 81.38 歳	最低	64 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	永山循環器科クリニック 旭川ペインクリニック たくま歯科
---------	------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

母体医療法人は、地域に密着した活動が長く地域住民や利用者・家族の信頼も厚い。また、グループホーム協議会や研究会の研修の機会を大切に、「ふれあい会館」を併設して地域のケアサービスの質の向上の為の場も提供しています。管理者・職員は、利用者一人ひとりの身体機能の向上に取り組みパワーリハビリや日常生活で利用者の力を引き出し、持続可能な社会生活が送れるように心がけ支援しています。職員の研修参加を積極的に奨励して参加者の報告で、施設長が教育・訓練の有効性の評価を実践し、判定しています。さらに、ヒヤリ・ハットの未だ起きていない事故についてもデータが収集され改善活動に活かされています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、研修生の受け入れについての提案がなされていましたが、保育園児との交流や中学生によるマンドリンの演奏会、実習生の積極的受け入れが行われ認知症に対する理解や広報に取り組みられています。また、「せせらぎの里便り」を毎月発行して町内会にも回覧で配布されています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、全ての職員が参加して意見交換され、新たな気づきや研修の場として捉えられケアサービスの質の向上に利用されています。管理者、職員は自己評価及び外部評価の意義を確認し合い理解が深められています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、評価日現在3回実施されています。その議題は 個人情報取り扱いについて ホーム主催及び家族会主催の行事について 町内会との連携及び協力について グループホームせせらぎの里について意見交換 次回開催の運営推進会議の要望や取り組みについて
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 「せせらぎの里便り」を毎月発行して、利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子など家族に情報提供したり、来訪時には意見や不安などが言いやすい雰囲気づくりをしています。また、家族会との活発な意見交換や家族会主催の行事への協力や連携などが行われ、そこでの意見を運営に反映される取り組みも行われています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会に加入して、町内の清掃活動や地域の花火大会、敬老会の参加を通じて地域の人達との交流が図られています。また、保育園児との交流や中学生のマンドリン演奏会鑑賞を地域に回覧で呼びかけたり、実習生の積極的な受け入れなど日常生活を通じて地域との連携が行われ認知症に対する理解や広報に取り組んでいます。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	日常の業務の中で利用者が地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えるサービスとして理念を作り上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、理念・理行を達成するためにユニット会議や職員会議を通じて具体的に話し合わせ日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入して、町内の清掃活動や地域の花火大会、敬老会の参加を通じて地域の人達との交流が図られています。また、保育園児との交流や中学生のマンドリン演奏会鑑賞を地域に回覧で呼びかけたり日常生活を通じて地域との連携が行われ認知症に対する理解や広報に取り組んでいます。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、全ての職員が参加して意見交換され、新たな気づきや研修の場として捉えられケアサービスの質の向上に利用されています。管理者、職員は自己評価及び外部評価の意義を確認し合い理解が深められています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については評価日現在3回開催されている。メンバーは利用者、家族会代表、町内会役員、社会福祉協議会役員、他施設の介護支援専門員、事業者及び管理者・職員で構成され町内会との連携や協力について具体的に取組んでいる。</p>		<p>今後はさらに、市や包括支援センターの協力を得ながら地域の人達も参加した消火訓練など具体的な活動を行う計画が検討されています。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>包括支援センターや市担当者との相談や連携について日々取組んでいる。またグループホーム協議会・研究会などに研修の場を提供して地域のケアサービスの質の向上に先駆的な役割を果たしている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月「せせらぎの里便り」を発行して、利用者の日常の暮らしぶりや健康状態などそれぞれの家族にこまめに情報提供している。また、状態変化については都度電話連絡などで詳細に報告している。</p>		<p>家族会での意見交換や家族会主催の焼肉行事などの協力や連携が行われ特筆すべき点としてあげられる。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>自己評価・外部評価の結果や運営推進会議の内容について家族会に報告して意見を聞く機会を作ったり、来訪時には気軽に話せる雰囲気づくりに取り組んでいる。また、家族会との話し合いや協力体制が整いそこでの意見を運営に反映させている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>共用空間で全スタッフの紹介を写真で掲示するなどして家族に安心感を与える工夫をしている。また、職員の離職率は低く安定したケアが実践され、職員の異動についても利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	グループホーム協議会や研究会などの外部の研修参加を積極的に奨励して、参加者の報告で施設長がその教育・訓練の有効性を判定してフォローアップされたり、申送りなどで職場内研修やOJTの実施がされ職員を育てる取り組みがされている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業者の研修や交流のために「ふれあい会館」を併設して、地域のケアサービスの質の向上に先駆的なグループホームである。また、ヘルパー実習の受け入れやグループホーム協議会・研究会での他施設との積極的な交流が行われている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、利用者・家族の不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員も利用者と一緒に園芸や家事をしたり、センター方式を利用して利用者の過去の大事な出来事や生活歴を家族と共に協力しながら把握して「私のわかること、私のわからないこと」「私のできること、私のできないこと」を職員間で共有して本人の気持ちになった支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1.一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>一人ひとりの思いや希望を職員間で共有して、散歩や買い物、畑作業で茄子やミニトマトなどの野菜作りや当麻、東川までのドライブなど積極的に外出の機会を多く作ったりパッチワークなどの趣味への支援や食の嗜好の把握など取り組みが行われている。</p>		
<p>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画は作成されており、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報やケアカンファレンス開催で職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い、カンファレンスやモニタリングを定期的に行い、計画的に見直しが行われています。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われています。</p>		<p>現在、センター方式を導入して職員間で研修や問題点など検討されケアに活かす工夫が職員間で取組まれているので今後、さらに有効活用されることが期待されます。</p>
<p>3.多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況に応じて、通院の支援や要望のある場合には散歩や買い物など柔軟に支援を行っている。また、訪問マッサージの利用や理美容院への訪問など時々々の要望にも対応されています。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	母体医療法人や利用者それぞれの主治医との連携で気軽に相談できる医師・看護師が確保されている。また、利用者、家族の希望や要望に応じて状態変化などについても往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、方針が確立され職員間で共有される取り組みが行われている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録等の個人情報の扱いについては、個人情報保護法に対応した配慮がされた取り組みが行われている。また、利用者一人ひとりの尊厳やプライバシーを尊重した声かけや一人ひとりのペースを大切にされた取り組みが行われている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースを大切にして、散歩や買い物で金銭を使う場面を見出したり、畑作業や食事の準備、ドライブで気分転換をするなど本人の希望やペースに沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者が一緒になって楽しんで食事をして微笑ましい風景でした。また、一人ひとりの食の嗜好の把握をして食事が楽しみなものになるように工夫されていました。食事の準備・後片付けや食器拭きも職員と一緒に、和やかな雰囲気を出している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は基本的に決めているが利用者の希望に応じて週2回を目安に対応している。また、ゆっくりとくつろいで入浴が楽しめるように支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴が把握され、洗濯物たたみなどの役割が決まっていたり、畑での野菜の栽培や収穫、パッチワークなどの趣味や家族会主催の焼肉行事への参加、気分転換のための公園や東川まつりへのドライブなど外出の機会も多くつづられている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	町内会行事への参加、スーパーでの買い物、散歩、公園散策や白鳥見物、東川まつりや当麻までのドライブなど気分転換や心身のリフレッシュができるように積極的に外出できるように支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関は、施錠せずに自由に出入りできるように開放している。また、利用者が外出する時は、職員がさりげなく見守り安全面で配慮されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>資格を持った防火管理者が配置され、火災避難訓練が年2回実施されています。また、ホットライン・消火設備についても点検及び自主点検が実施され対策されています。</p>		<p>今後は、近隣の住民も参加した火災避難訓練を行い日頃より協力が得られる働きかけを行う検討がされています。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>一人ひとりの食の嗜好が把握されて、具体的な食事・水分摂取量については記録され、栄養バランスやカロリーについても栄養士の指導・アドバイスも受けて支援されている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>天窓より採光が差し込み明るく広い廊下やダイニングでは、畳のコーナーが設置されたり椅子やテーブルが配置され一人になったり利用者同士談笑できるスペースが確保されている。中庭では畑作りや花の栽培を楽しむことができ季節感や気分転換ができるように配慮された工夫がされている。また、利用者にとって不快な音や光がないように配慮されている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、家族も宿泊でき、談笑や趣味を楽しめる場となっている。また、仏壇や使い慣れた家具、趣味の道具などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっていて大切な写真が飾られたりして一人ひとりの思いが伝わる空間作りとなっている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。